



PowerPoint での 録音・動画作成の手引き



マイクを設定する

ナレーション録音する場合は、USB 接続マイクをお勧めします。あらかじめパソコンとマイクを接続した状態にしてください。

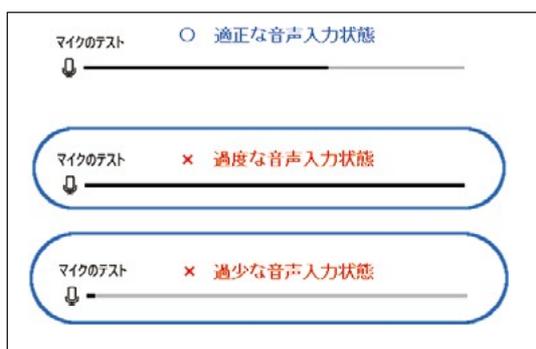
Windows10 の場合は
スタートメニューから、
設定 > システム > サウンド
を開きます。

PC 内蔵マイクと USB マイクなど
複数入力がある場合には、
使いたいマイクを選択します。

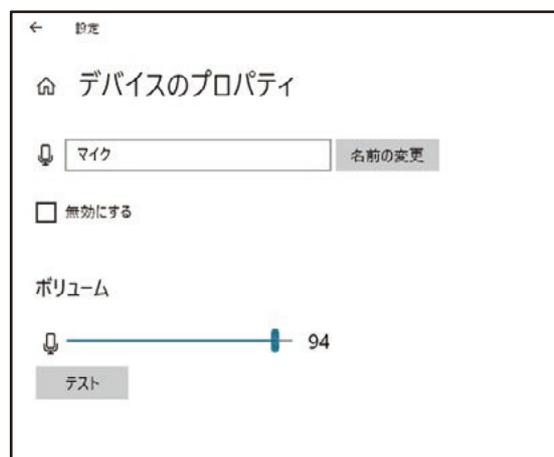
マイクに向かって実際に声を出すと
マイク音量が動きます。
大きすぎる、小さすぎる場合は、
調整が必要です。



マイクの音量を調整する場合は
[デバイスのプロパティ] をクリック
して 音量の調整をお願いします。



上が適正な音声入力状態。



PowerPoint のバージョンを確認する方法

<全バージョン共通>

PowerPoint を起動し、下記の手順で確認してください。

1. [ファイル]のタブをクリック
2. [アカウント]のタブをクリック
3. [PowerPoint のバージョン情報]を確認





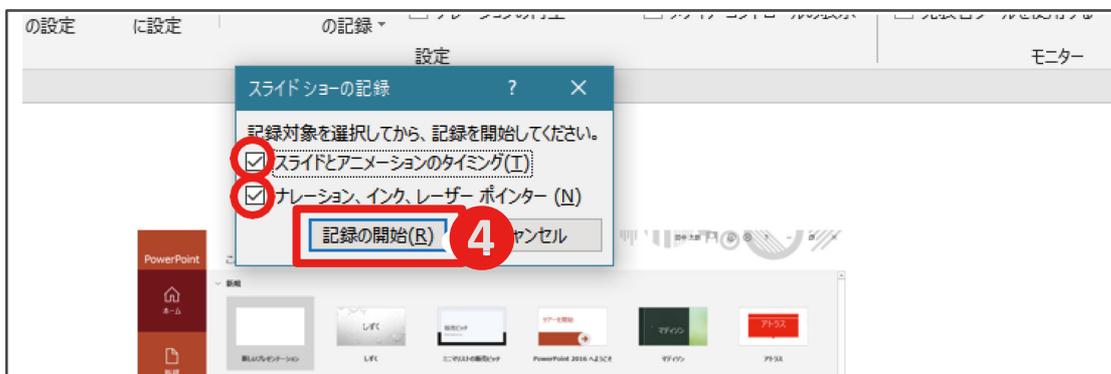
PowerPoint2016 で録音する方法 (1/4)

PowerPoint2013 の場合も、ほぼ同様の手順になります。
2016 の説明を参考に作成ください。

1. [スライドショー] タブをクリック
2. [スライドショーの記録] をクリック
3. [先頭から記録] をクリック

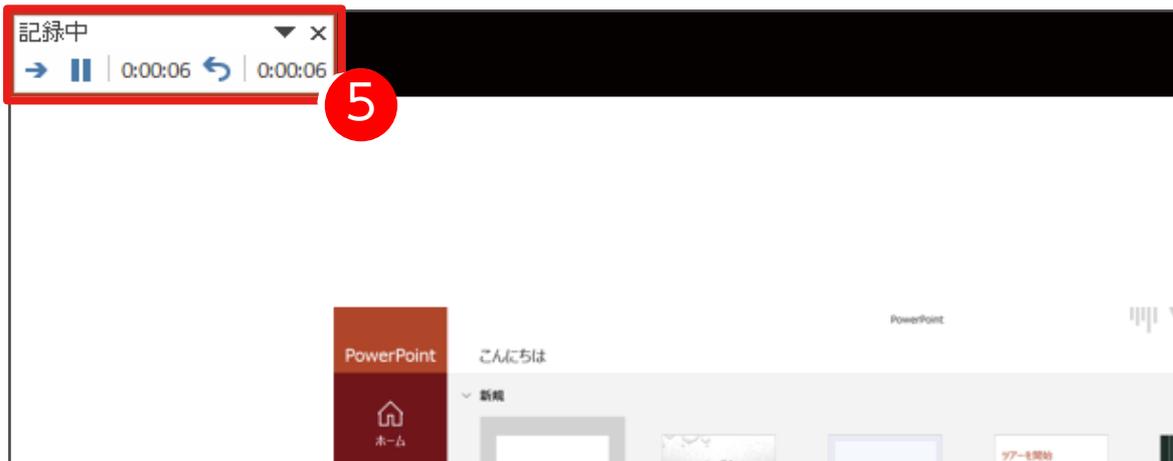


4. [スライドショーとアニメーションのタイミング] と [ナレーション、インク、レーザーポインター] のチェックが入っていることを確認して [記録の開始] をクリック

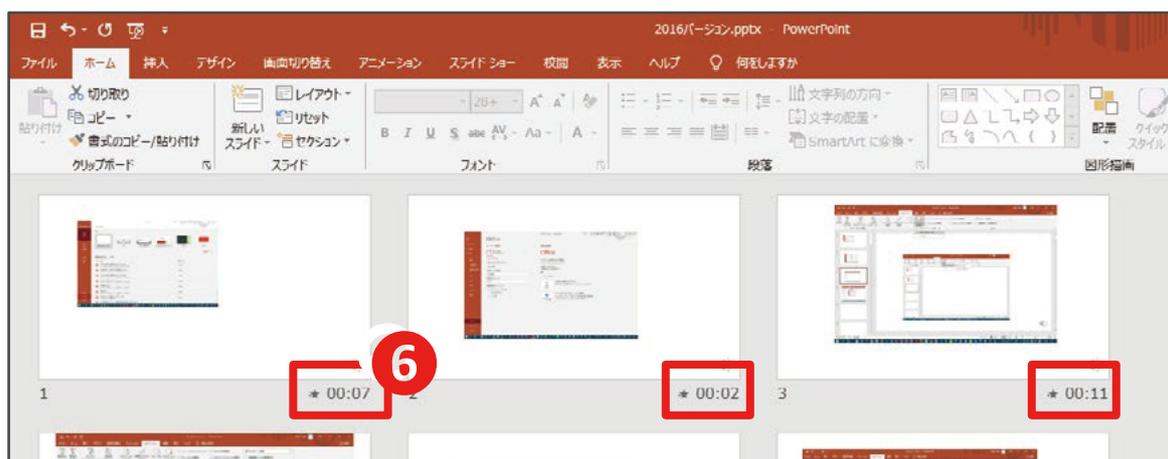


PowerPoint2016 で録音する方法 (2/4)

5. 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進めます。
1枚ずつナレーションを入れ終えてから、次のスライドを進めてください（音声が入り切れない場合がございます）。
※一時停止を押すと、録音が一時的に停止できます。
※再開を押すと再度録音が始まります。



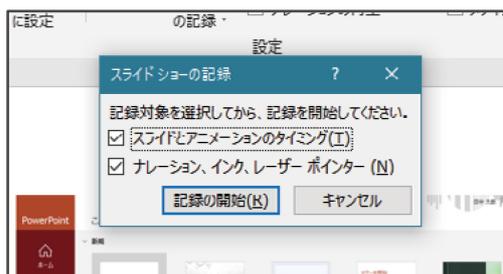
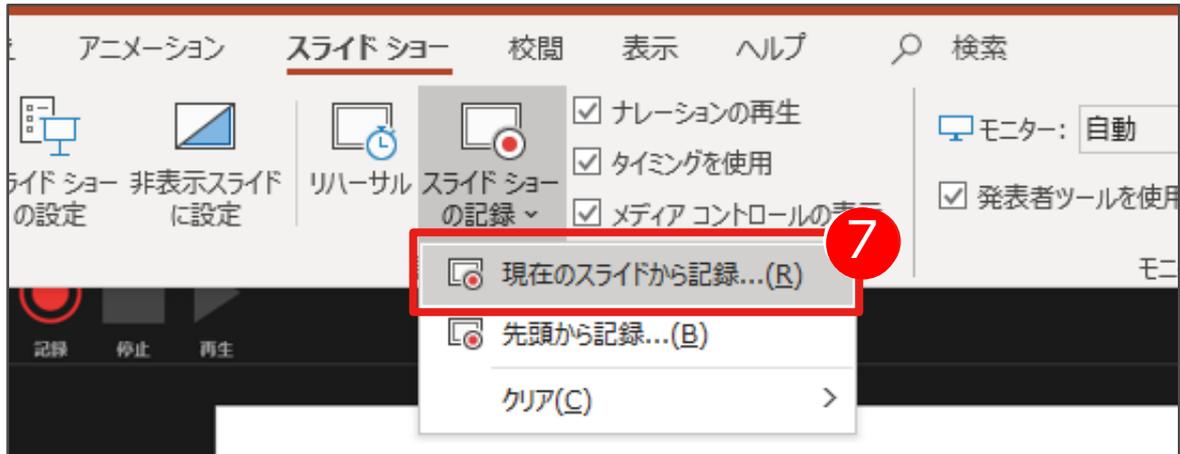
6. スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示をみていただき、各スライドの左下に時間が表示されていることを確認します。



PowerPoint を保存（新しく名前を付けて保存）します。再度ファイルを開き、スライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認します。

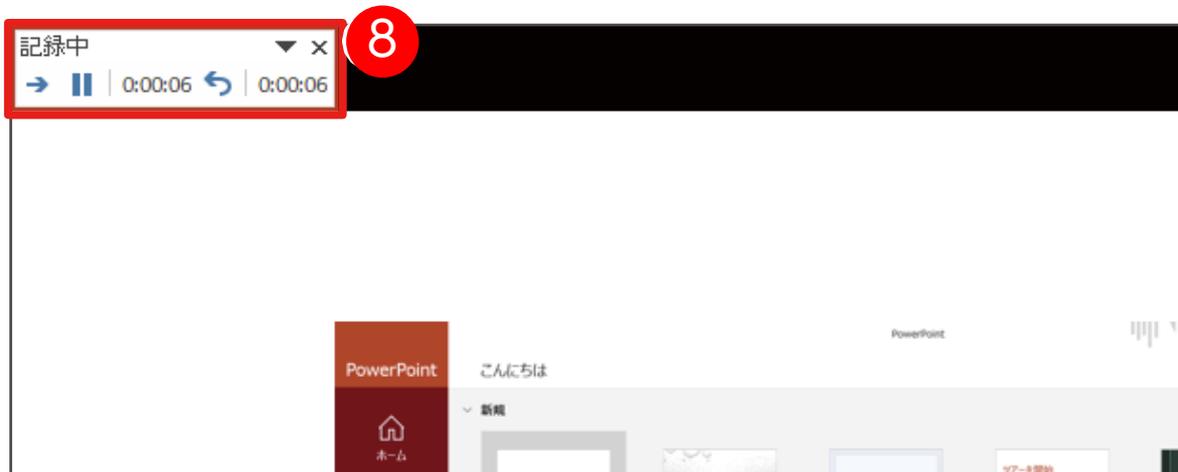
PowerPoint2016 で録音する方法 (3/4)

7. スライドの録音を部分的に取り直したい場合は、取り直したいスライドを選択した状態で [現在のスライドから録音を開始] を選択します。



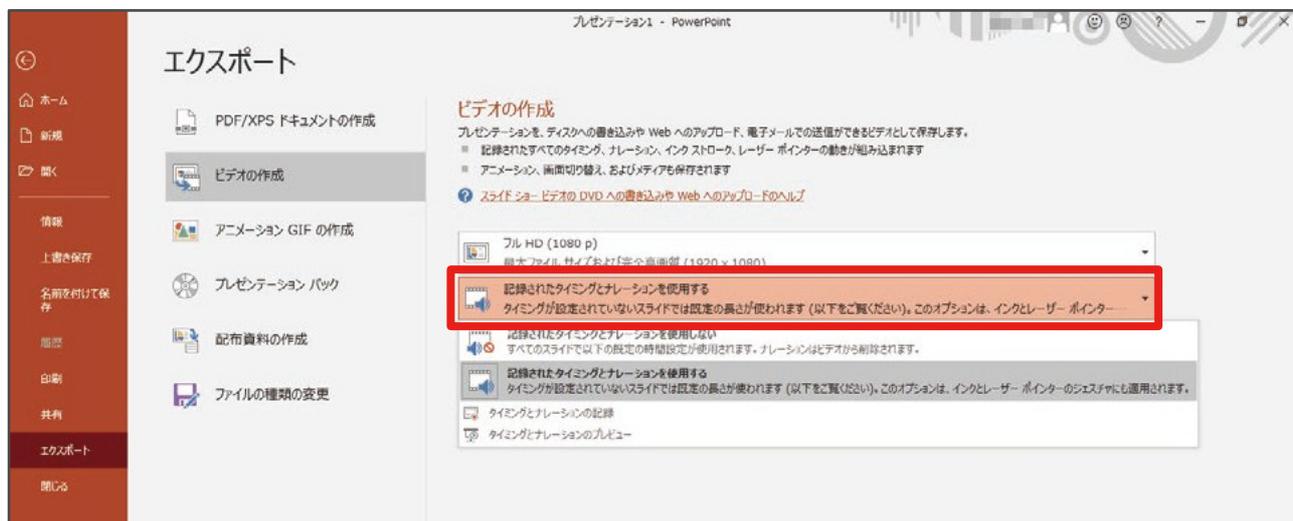
4 と同様の手順で
進んでください。

8. やり直したいスライドのナレーション録音ができたら [×] をクリックしてください。録音開始から終了を押された時点までの音声録音されます。



PowerPoint2016 で録音する方法 (4/4)

9. スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う[ファイル]→[エクスポート]→[ビデオの作成]で書き出します。

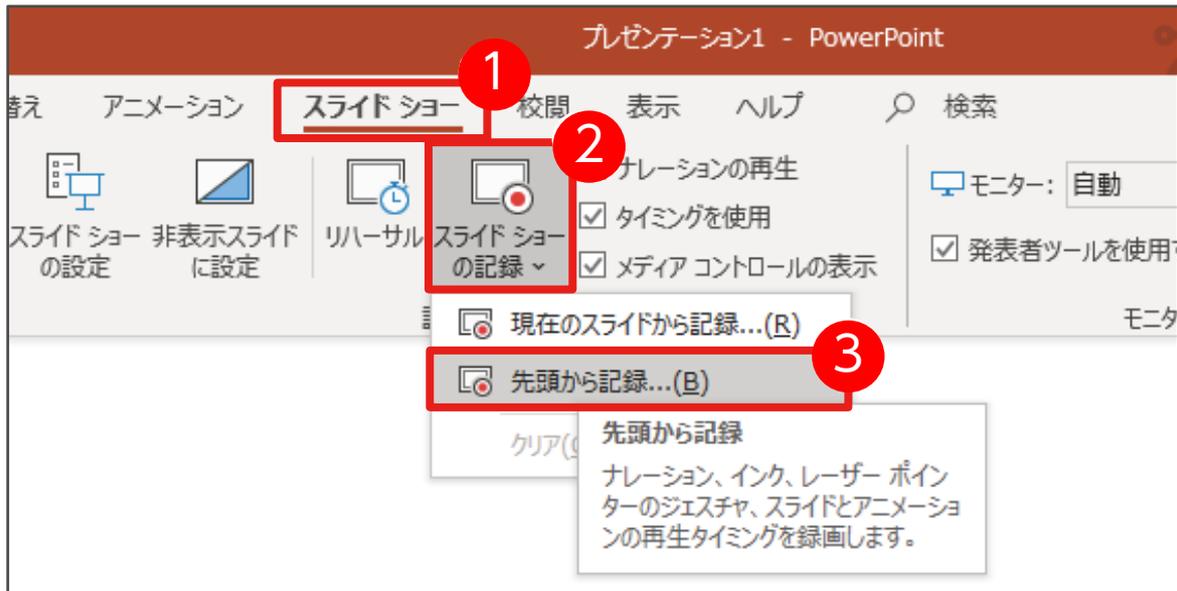


- [1920×1080] もしくは [1280×720]
- [記録されたタイミングとナレーションを使用する] を選択してください。

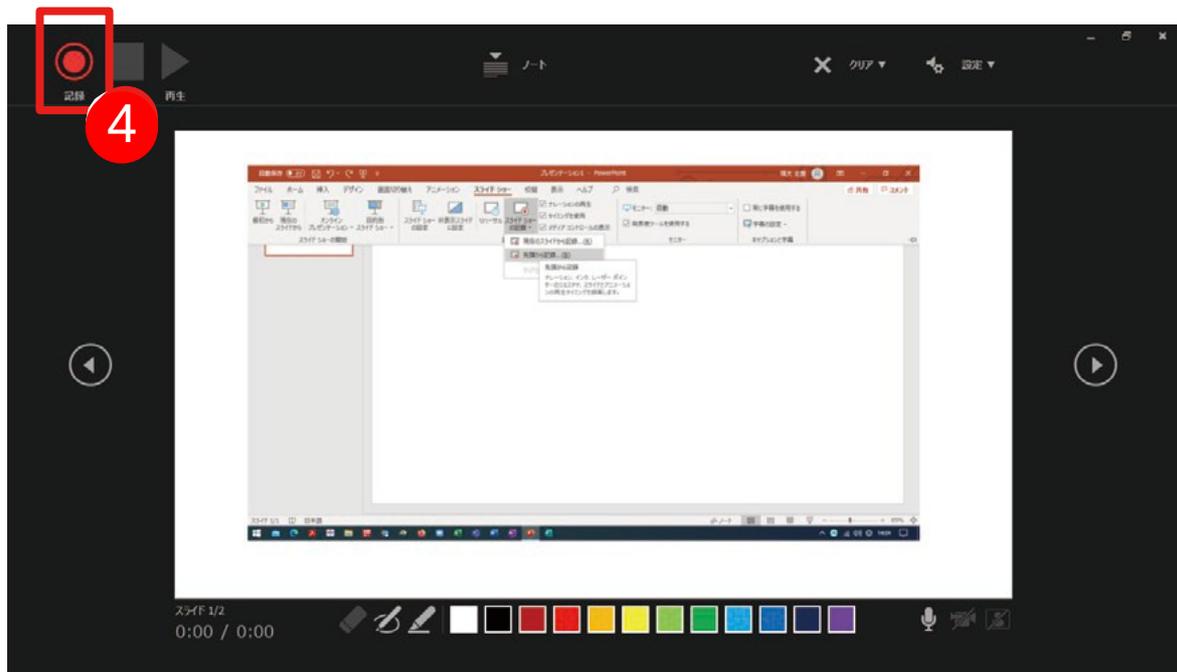
※書き出したファイルは mp4 形式の動画ファイルになります。
Windows Media Player などの動画再生アプリでご確認ください。

PowerPoint2019 で録音する方法 (1/5)

1. [スライドショー]タブをクリック
2. [スライドショーの記録]をクリック
3. [先頭から録音を開始]をクリック



4. [記録] をクリック



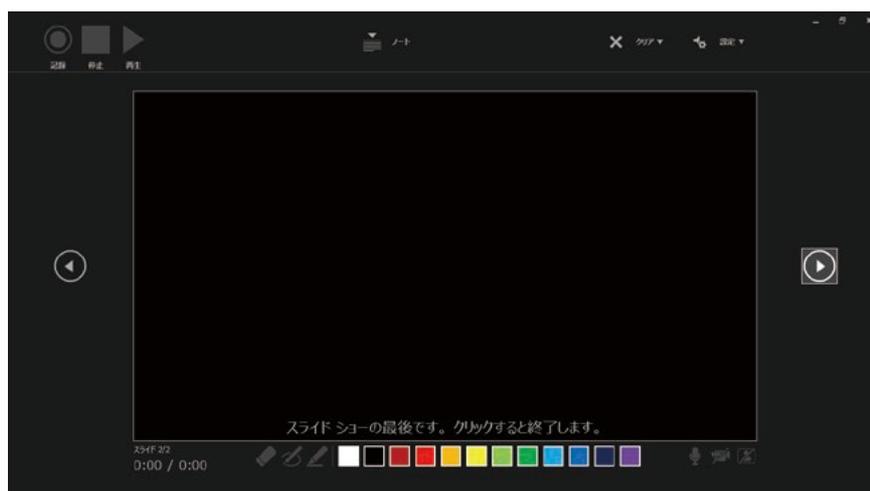
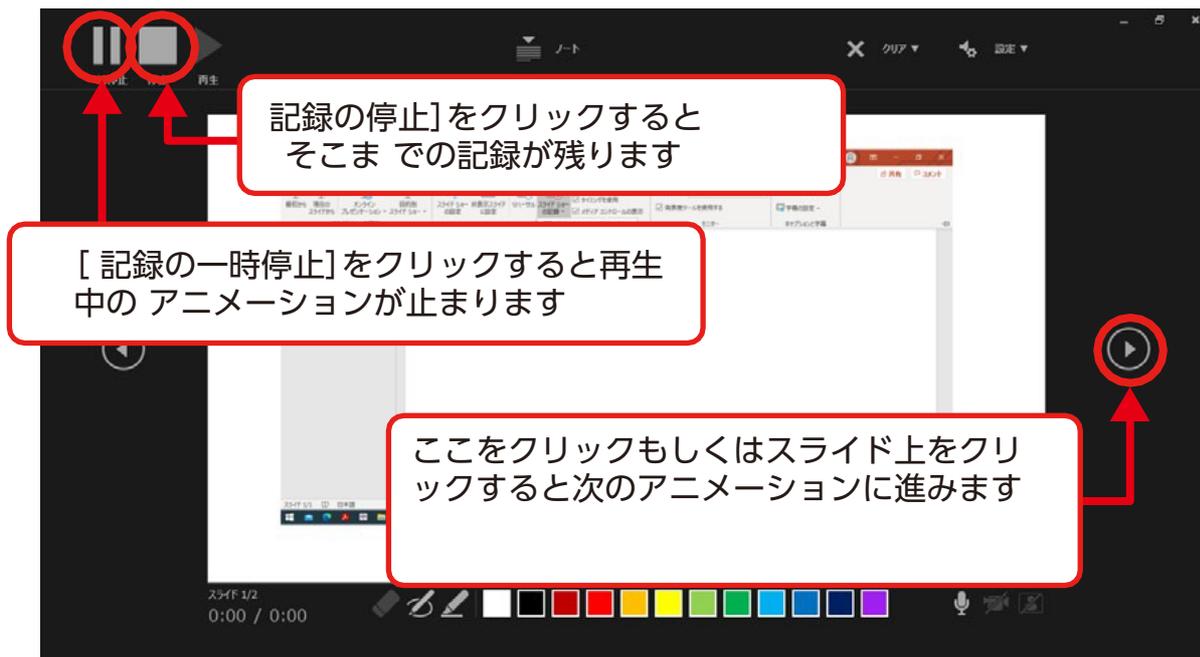


PowerPoint2019 で録音する方法 (2/5)

5. 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進めます。
1枚ずつナレーションを入れ終えてから、次のスライドを進めてください（音声途切れる場合があります）。

※一時停止を押すと、録音が一時的に停止できます。

※再開を押すと再度録音が始まります。



最後まで進めると自動的に録画が停止になります。
上画面まで来たら、スライドをもう1枚進めると元の画面に戻ります。



PowerPoint2019 で録音する方法 (3/5)

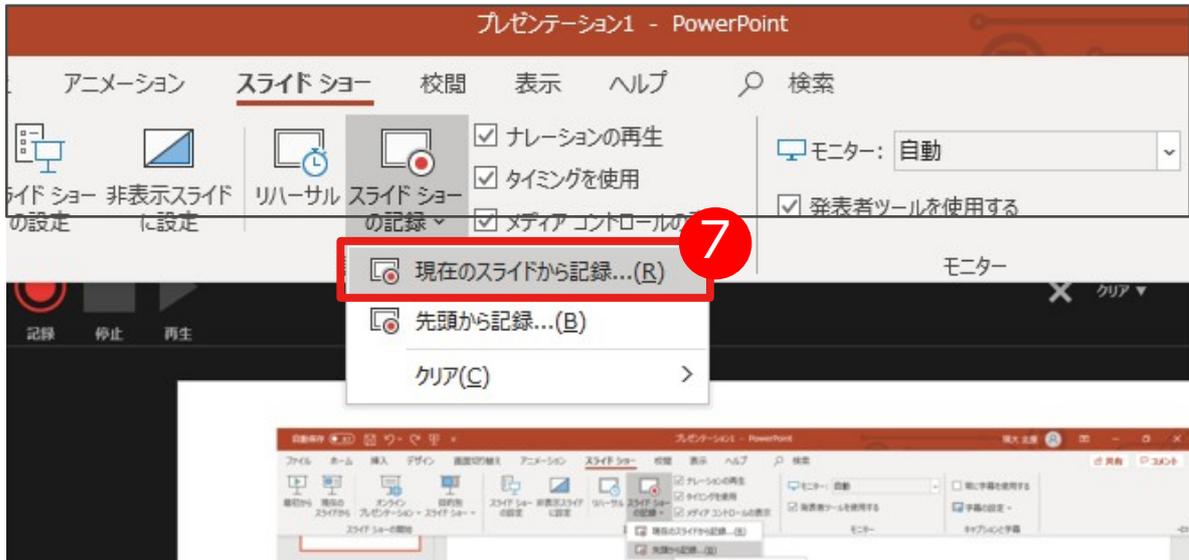
6. スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示をみていただき、各スライドの左下に時間が表示されていることを確認します。



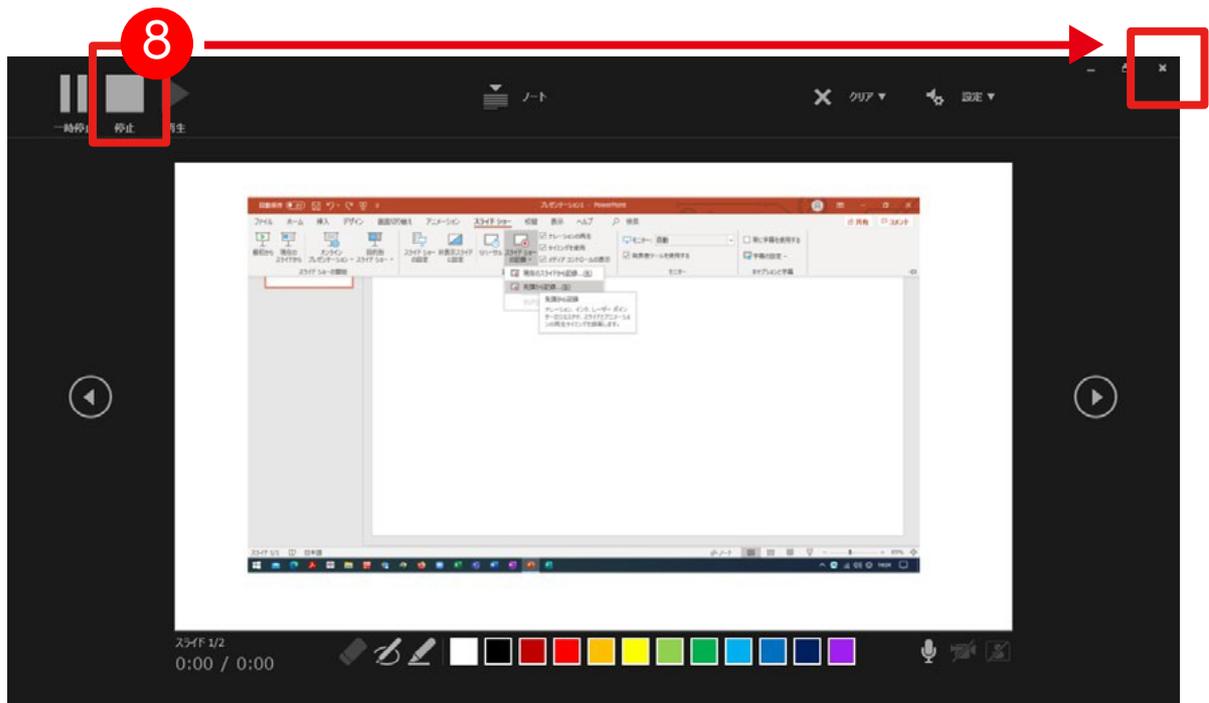
PowerPoint を保存（新しく名前を付けて保存）します。
再度ファイルを開き、スライドショーで確認して、
音声やスライドのタイミング等問題がないか確認します。

PowerPoint2019 で録音する方法 (4/5)

7. スライドの録音を部分的に取り直したい場合は、取り直したいスライドを選択した状態で[現在のスライドから記録]を選択します。

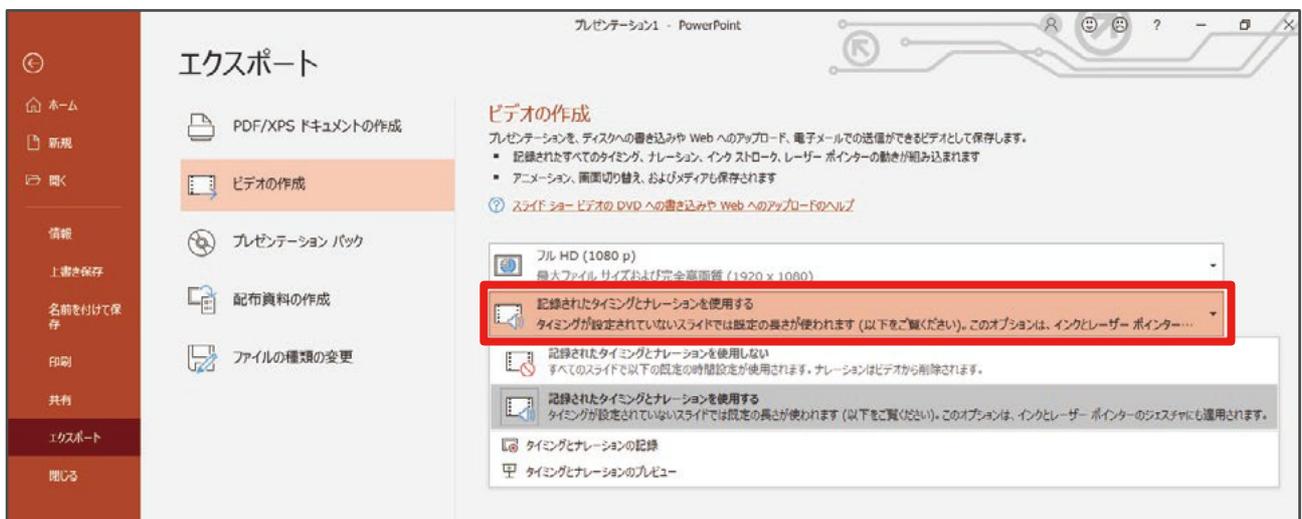


8. やり直したいスライドのナレーション録音ができたら [停止ボタン]をクリックし、右端の[×]をクリックしてください。録音開始から終了を押された時点までの音声録音されます。



PowerPoint2019 で録音する方法 (5/5)

9. スライドを確認して問題なければ、書き出しを行います。
[ファイル] → [エクスポート] → [ビデオの作成] で書き出します。



- [1920×1080] もしくは [1280×720]
- [記録されたタイミングとナレーションを使用する] を選択してください。

※書き出したファイルは mp4 形式の動画ファイルになります。
Windows Media Player などの動画再生アプリでご確認ください。

PowerPoint for mac で録音する方法 (2/3)

4. スライドを最後まで進めると保存ダイアログが表示されるので [保存] をクリックします。



5. 録音後にスライド一覧表示をみて、各スライドの左下に時間が表示されていることを確認します。

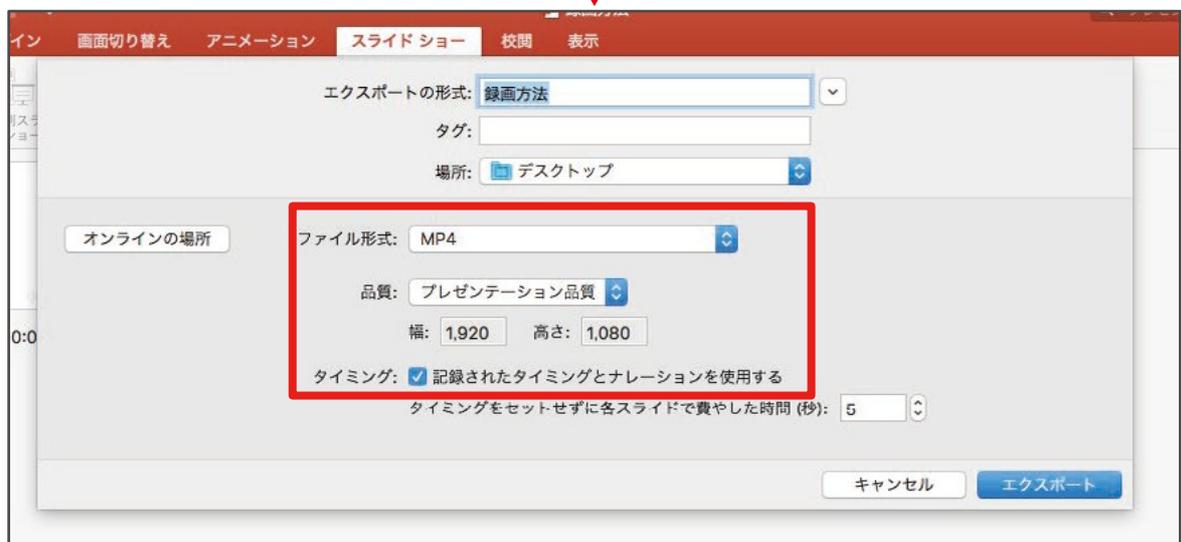
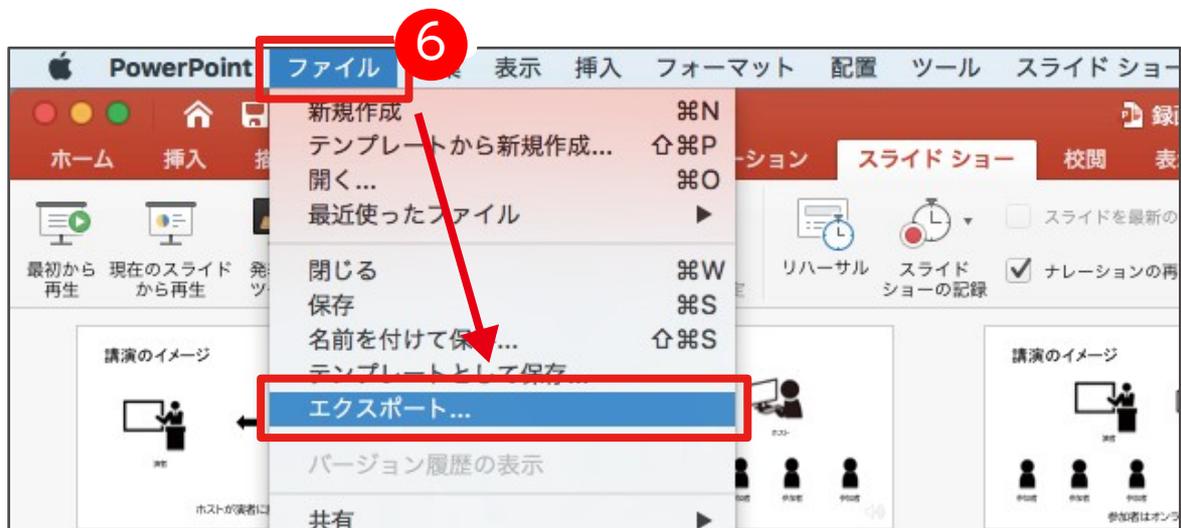


PowerPoint を保存（新しく名前を付けて保存）します。再度ファイルを開き、スライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認します。

PowerPoint for mac で録音する方法 (3/3)

6. スライドを確認して問題なければ、書き出しを行います。
[ファイル] → [エクスポート] で書き出します。

※ファイル形式は MP4 を選択してください。



- [1920×1080] もしくは [1280×720]
- [記録されたタイミングとナレーションを使用する] を選択してください。

※バージョンによっては書き出し対応していないバージョンもございますので、その際は PowerPoint にナレーション録音をいれた状態でご登録ください。

※書き出した mp4 ファイルを確認する場合は、QuickTime Player などの動画再生アプリでご確認ください。